

水中ドローンを使用した火力発電所内取水口などの点検

概要

火力発電所では、海水を冷却に使用しており、取水口における生物付着は、管路の閉塞や熱交換率の低下などを引き起こし、出力や発電効率の低下原因になります。現状では装置停止中の定期検査期間などに点検する事が多く、運転中に点検する事は困難です。水中ドローンを使用した点検では、取水口のような暗渠に海水の流れがある設備運転中でも点検が可能で、ダイバーによる点検と比べ安全性が非常に高く安価です。

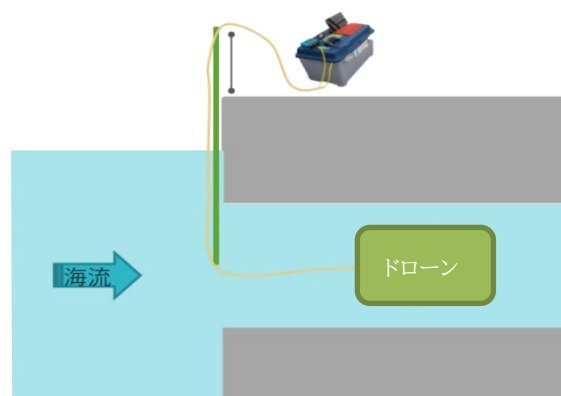
当社は、電力中央研究所様（以下、電中研）と共に発電所の水中ドローンを使用した点検作業のノウハウを習得しています。（電中研とライセンス契約済）

特徴

- ・ 設備運転中に海水の流れがある暗渠でも点検可能
- ・ 水中ドローンを地上で操作するため安全
- ・ 水中ドローン操作不能の場合もロープによる回収可能
- ・ ダイバーによる点検より安全・安価

当社施工実績

- ・ 火力発電所での点検作業
- ・ 漁港沖の定置網アンカーの確認作業
- ・ 消防、防火水槽の点検作業



海水取入口の点検イメージ



火力発電所 海水取入口 除塵機底回転部



水深 30Mでの定置網アンカー

お問合せ



株式会社 電力テクノシステムズ 横須賀事業所 設備設計室

TEL (046) 857-4302、 FAX (046) 857-4360

担当：廣川・石黒 E-mail: hirokawa@dentec.co.jp : isiguro@dentec.co.jp